



「幼稚園・学校補助員研修会③④」

第3・4回の幼稚園・学校補助員研修会を、10月18日(水)教育研究センター会場、11月2日(木)やすらぎセンター多目的ホール会場で行いました。講師は、栗原市教育委員会 次長 菅原健志先生でした。

研修会の内容は、菅原次長による「幼稚園・学校補助員の役割」についての講義でした。栗原市内の学校の現状を誰よりもよく知る菅原次長の話に食い入るように聞く補助員さん方の姿が印象的でした。特に、配布した資料の中で、補助員に持ってほしい「マインド」について、具体の事例や朝日新聞で感銘を受けたことばを基に、グループでの話し合いを取り入れながら、まるで授業のような展開で、60分があつという間に感じられるほどでした。人間としてのあり様についても深く考えさせられました。

事後の感想には「どこまでなら声掛け・支援していいのか、どこからが指導なのか悩むこともあります。一番大事な補助員としてのマインドを教えてくださいました」「目立たないちょっとしたことを大げさにほめる、ちゃんと見ている安心感を与えたい。これを支援の目標にします」「とても身近な今抱えている問題にふれていただき、心が癒されました。初心にかえって一から支援に当たります」などがありました。



「研究の秋 授業づくり研修会続く」

教育研究センターでは、学力向上に向けた3つの授業づくり研修会を行っています。

1つ目の外国語教育研修会では、各中学校区ごとに設定した研究授業及び事後検討会を、10月5日の若柳中学校区の授業を皮切りに指導法の工夫改善に向け取り組んでいます。若柳中学校区では、小・中の先生で中学1年生の授業をTTで行い、絶妙なかかわり方でテンポよく授業を展開し、生徒も集中して取り組む姿が見られました。授業の様子は、Google Classroomにアップし、当日参加できなかった先生方からも意見や感想を寄せていただけるようにしています。10月31日には栗原西中学校区で中学1年生の授業を授業者とALTがほぼオールイングリッシュで行い、タブレットを活用して調べたりロイロノートでまとめたりする様子が見られました。11月7日には築館小6年生の授業が予定されています。

2つ目の算数・数学授業づくり研修会では、11月8日に栗原西中学校での2年生「平行と合同」の代表授業が行われます。研修会参加者で指導案の検討を行いました。

3つ目のICT活用授業づくり研修会では、小中学校等を3ブロックに分け、研究授業及び事後検討会を11月1日の志波姫中学校での理科の授業を皮切りに、ICTを効果的に活用した授業の工夫改善に取り組んでいます。志波姫中1年生の授業は、水とエタノールの混合物の温度変化を温度計で測定し、エクセルシートに記入すると自動的にグラフ化するものでした。11月7日には宮野小2年生の国語が予定されています。様々な教科でのICTを効果的に活用した実践を日々の授業に取り入れていただければと思います。

研究の秋、各種授業づくり研修会での授業をご参観ください。